



# 丸善出版

## 学生向けタイトルセクション

### 心理学



書名	著編者	発行年	冊子版ISBN	同時 1アクセス (本体)	同時 3アクセス (本体)	商品コード
<b>発達心理学</b> —健やかで幸せな発達をめざして— (※)	松原 達哉 編	2015年	9784621088999	¥8,250	¥12,375	1019315045

発達心理学は、人間が受精してから死に至るまでの心理学の諸問題を研究する学問です。本書では、QOL(quality of life:生活の質、人生の質)を追求することをテーマに、前半では、発達に関わる問題＝性的問題、いじめ・不登校・ひきこもり、心の病(精神医学的問題)、自殺、発達のおまづき、虐待・トラウマ、激変するメディア環境と、近年興味関心をひいているトピック・課題を中心に取り上げます。後半では胎児期、新生児期、乳児期、幼児期、児童期、青年期、成人期前期、成人期後期、高齢期について年代順にそれぞれの専門家が解説します。



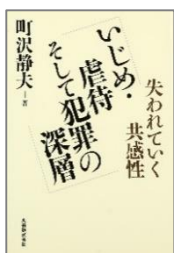
<b>臨床心理アセスメント 新訂版</b>	松原 達哉 編	2013年	9784621086483	¥5,720	¥8,580	1013151741
-----------------------	---------	-------	---------------	--------	--------	------------

臨床心理士や認定カウンセラー、教育カウンセラーなどの資格取得にとって必修科目とされている「臨床心理アセスメント(診断)」に関して噛み砕いて平易に解説する標準テキストです。現場のカウンセラーは、悩みをもって来談した患者さんに対して、まず、面接・行動観察を行います。さらに詳細な診断を行うためには、問題内容や症状に合わせて、いくつかの心理テストを実施し、その結果に基づいて、どのようなカウンセリングを行うかを決める必要があります。本書「臨床心理アセスメント 新訂版」では、種類も多く習得も大変な様々な「心理テスト全般」についてわかりやすく解説するとともに、臨床心理アセスメントの実施法についても具体的に紹介していきます。



<b>ダチョウのパラドックス</b> —災害リスクの心理学(※)	Robert Meyer・Howard Kunreuther 著 中谷内 一也 訳	2018年	9784621303306	¥9,240	¥13,860	1028700609
-------------------------------------	--	-------	---------------	--------	---------	------------

私たちはなぜ、繰り返し災害リスクを見誤り、結果的に準備を怠り、再び災害をうけてしまうのでしょうか。本書は、私たちが判断を誤る六つの心理的バイアス — 近視眼的思考癖・忘却癖・楽観癖・惰性癖・単純化癖・同調癖 — と、その意思決定のプロセスへの影響を豊富な具体例とともに紹介し、これらのバイアスを見込んだ解決へのアプローチを、心理学的な観点から簡潔にまとめています。



<b>攻撃と暴力</b> —なぜ人は傷つけるのか (丸善ライブラリー)	大淵 憲一 著	2000年	9784621053249	¥3,300	¥4,950	1028650416
---	---------	-------	---------------	--------	--------	------------

人間にとって「攻撃」とはいったい何なのであろうか。また、それはどれくらい深く、人間の本性に根ざしたものなのであろうか。本書では「人間の攻撃性」について、心理学における代表的な考え方を紹介するとともに、現代社会の暴力・犯罪の事例も交え、多角的な視点から、その核心に迫っていく。



<b>いじめ・虐待 そして犯罪の深層</b> —失われていく共感性—	町沢 静夫 著	2007年	9784621078396	¥3,520	¥5,280	1008060867
---------------------------------------	---------	-------	---------------	--------	--------	------------

現在日本の青少年は、その特有の問題性が顕著になっている。現在社会問題と「いじめ」「虐待」、「キレる」とされる衝動、将来に目標を持たない刹那主義、虚無感、対人恐怖、引きこもり……。著者は昨今の青少年の凶悪犯罪は「共感性(他人の体験、感情、心理状態、主張などを自分も同じように感じたり理解すること)」の欠如(喪失)が根底にあると考え、豊富なケーススタディー(症例)を交えながら、具体的に現状、問題点、幼少時の親の接し方などを呈示する。

<b>ボーダーライン</b> —自己を見失う日本の青年たち—	町沢 静夫 著	2003年	9784621071427	¥3,520	¥5,280	1008060860
-----------------------------------	---------	-------	---------------	--------	--------	------------

約20年にわたり200人以上の「ボーダーライン」の患者を診察、治療している著者の集大成ともいべき一冊。孤独に悩み、愛情を切に求め、それが得られないとなると激しい怒りに押し流されてしまう「ボーダーライン」の青年たちの発症の原因を分析し、最新の治療を紹介する。本書は平成9年に刊行された丸善ライブラリー「ボーダーライン 青少年の心の病い」に、現代青年のもう一つの大きな心の病理である「ひきこもり」と、境界性人格障害の治療で最も注目されている「リネハンの弁証法的認知行動療法」を新たに加筆したものである。

教育



書名	著編者	発行年	冊子版ISBN	同時 1アクセス (本体)	同時 3アクセス (本体)	商品コード
教育改革論	加藤 寛 著	1996年	9784621052006	¥3,300	¥4,950	1029684250
<p>本書は、慶応義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)の創設によって大学改革の先鞭を切った筆者による大胆な教育改革論。第一部で「いじめ」や「偏差値入試」など日本の教育全体が抱える問題を論じ、第二部ではSFCでおこなった改革へのユニークな取り組みについて、また第三部では「PL (Professor's Liability) =教授の責任・信頼」を宣言し注目を集める千葉商科大学での意欲的な試みを取り上げ、大学のあるべき姿を問いかける。</p>						
学生時代、学ばなかった君へ —学びの法則—	鷲田 小彌太 著	2003年	9784621073537	¥3,080	¥4,620	1008060865
<p>現在、学校は、多くの問題を抱えているが、それでもなお、学校で学ぶ効用は、多くのマイナス面を差し引いても、はかりしれないものがある。その学校で学び、さらに学校を出て「仕事」のために学ぶ意味は何なのか？ 効果的に学ぶ学び方にはどのようなものがあるのか？ 筆者ならではのユニークな視点で、実体験を交えながら、「老若男女を問わず、懸命に学ばなければならない時代」における「学ぶことの意味」を問う。</p>						
科学を伝え、社会とつなぐ サイエンスコミュニケーションのはじめかた(※)	独立行政法人 国立科学博物館 編	2017年	9784621301975	¥5,940	¥8,910	1026405281
<p>サイエンスコミュニケーションとは、「科学の専門家と一般の人びとをつなぐ」「科学と社会をつなぐ」活動です。科学への興味関心をどのようにもってもらうか？ 社会的課題の解決に科学がどのような役割を果たせるのか？ 多くの人びとと共に考えるにはどうすればいいのか？ など、今、さまざまな場面でサイエンスコミュニケーションが求められています。国立科学博物館は、2006年からサイエンスコミュニケーターの養成に取り組んできました。本書は、その10年以上にわたる経験を集約させたテキストです。本書には、研究機関やメディア、企業など、各分野の第一線で活躍しているコミュニケーターの考え方やノウハウがこの一冊に凝縮されています。</p>						
教科書を飛び出した数学	藤川 大祐 著	2013年	9784621086056	¥2,860	¥4,290	1013867159
<p>「数学なんて勉強して何の意味があるのだろう」そんな風に感じたことのある方も多いのではないのでしょうか。本書では、中学や高校で学んだ数学が、私たちの生活や社会とつながっている、なくてはならないものであることを感じてもらうことを目的としています。音楽、鉄道、「グリコゲーム」。私たちの身近なものには、教科書の枠を飛び越えた多くの数学が隠れているのです。数学には、数学固有の面白さもあります。しかし、それだけではなく、トリックアート、暗号、電気工学、ゲーム、視聴率など社会とつながる数学の魅力もあります。本書は、実際の中学の授業をベースにしており、読み物として面白いだけでなく、よくわかる内容です。</p>						
先生、物理っておもしろいんですか？ (※)	パリティ編集委員会 編	2015年	9784621089248	¥5,280	¥7,920	1018683952
<p>物理系の大学の先生、研究者を中心に物理に関わる69人の方々に、「物理は本当におもしろいのでしょうか？」「物理をおもしろいと思うのはなぜなのでしょう？」「高校生に、『大人になって使うこともないのに、なんで物理なんてやらなくてはいけないのか』と聞かれたら、何と答えますか？」「なぜ物理を続けているのですか？」という質問をぶつけてみました。物理科学雑誌「パリティ」の人気連載コラムを単行本化。</p>						

● 表示価格は税抜きです。 ● タイトル末尾の(※)はダウンロード不可です。

2020年11月